焦点

今度の人員整理に当つて会社は〃経済解雇だ、だから個々の解雇理由は云えない〃と終始一貫おし通しているが、其の肚は組合活動抑圧だと云う事は多くの実例が余りにも明白に物語つている。これはその一つ

邪魔者は殺せ？

職場闘争委員が全部クビ

降つても照つても三川鉱正門前に坐り込む被解雇者の中に仲好く並んで座を占める多久米、新村藤吉両氏の顔を見かけないことはない。多久さんは上層西丙方（採炭、充塡、機械、積口一一〇名）の職場闘争委員長、新村さんは同じく副委員長で、他に採炭の代表委員長沢、積口同中津川両氏も解雇通告書を送りつけられた口なので代表委員四名共全滅と云う訳、立入りが禁止されたので職場での常会は持てないが、その代りあがつてから坐り込み現場附近で集会を行い、かえつてその方が出席率も好く、不当な首の座に据えられた自分達の職場代表をかこんで士気も旺盛なら纒りも早いと云う。会社が何とゴマ化そうとこれが組合活動弾圧でなくてなんだろう。この事について多久さんは次のように語つている。

昨年暮れの長期ストの最終段階にあつてピケ隊動員に積極的に動いたのと、その後の地域分会、炭婦協の結成に先頭に立つたのが睨まれたのだろう、他には全く該当の心当りがない。それだとすれば明かに組合活動の抑圧だし他の諸君にも全く同様な事が云える。所謂〃邪魔者は殺せ〃と云う事につきよう。

因みに多久さんは昭和十二年万田鉱に入社、優良鉱員として二回表彰を受け、組合結成後は一期も欠かさず委員をつとめ部内の信望はこの上もなく篤い。

寫眞は多久さん（左）と新村さん

激闘九十日岩屋争議

國警の彈壓と闘う

悪辣な會社の切くずし

歩一歩と再軍備の地ならしを進める反動政府とぐるになつて、炭鉱労働者の大量首切りを行つている資本陣営も遂に最後の手段として警察権力の干渉を秘かに要請したのか？九月二十三日午前五時寝込みを襲つて罪なき人々を十一名も拘束する事件が岩屋労組に起つた。我が三鉱労組も毎日々々激烈な闘いを続けているが、九炭労よりの要請に応え急据ニュース・カーを出動させ、北岡教宣、花園政対両部長はじめ、各支部から勧告拒否者各一名、計八名が二十四日午前十時出発現地におもむいた。

争議の發端

去る六月下旬九州を襲つた未曾有の豪雨は一瞬にして幾多の尊い人命と坑内を埋没してしまつた。岩屋炭鉱に於てもその被害は最もひどく、全坑水浸しになつてしまつたのである。そうしてこれが単なる天災かそれとも人災かという事で労資の意見が対立をしたが、未だ犠牲者の死体も完全に発見されないまゝに会社側は一方的に全員解雇の線を打ち出して来たのである。

天災か人災か

濁水廢坑口より浸入

町切り坑口（廃坑）より浸入し始めた水は岩屋を一瞬にして満水させてしまつた。会社はこれを称して天災だといつている、だが組合側は天災とは全く縁もゆかりもない会社側の工事サボによる人災だといつている。廃坑の整備を怠つていた事が原因であり、廃坑に対して、完全な防水設備さえして置けば全々水は入る事はなかつたのである。そのように自らの責任を水害に事よせ全組合員の首切りを発表した経営者としての恥知らずの行為が国家の資源を失い、働く者を塗炭の苦しみに陥れている。

第二組合うまる

會社の煽動で裏切分子

熱烈な全組合員の職場復興への努力に対して会社側は最も悪辣な組合切崩しの手段を弄し一部御用分子を煽動して第二組合を結成させた（一二八〇名中二八〇名）組合としては組合員に最も不安と動揺を与える卑劣極りない行動に対しては平和的解決を計るべく団交を求めたが、会社側は組合の交渉権さえ否認し、いよいよ反動的な行動を露骨に表面化するに至つたのである。

今日は人の身明日はわが身

東壓労組の同志から激勵カンパ届く

東圧労組の同志達から激励文にそえて資金カンパ一万五千七百八十二円五十銭が廿六日鉱組本部に届けられた廿五日給料日当日各職場毎に取纒められたもので〃皆さんの給料の中から炭労へ同志的支援を送ろう〃と刷り込んだ大型封筒に納められ、表には夫々まごころこめた激励の寄せ書きが記されて居る。その中から五つ六つ拾つて見ると

「今日は人の身、明日は我が身」（合成二課）

「労働者階級の尖兵として闘う炭労の同志に心から敬服し、今後共支援を誓う」（横須三番方）

「無理して病気になるな」（警備課）

「盲動何かせん、悠久天に在り。同志の健闘を祈る」（同）

「権力の壁はきしみだした！あと一息だ頑張れ」（執行部）

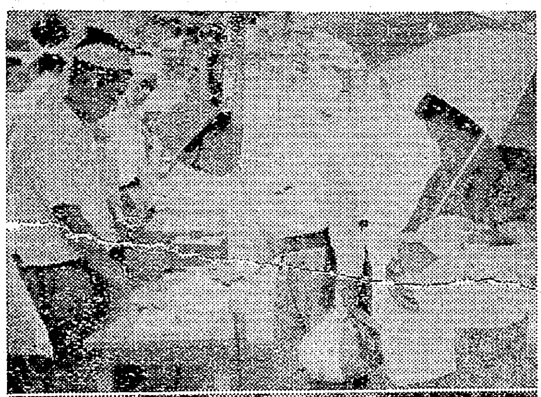
「秋季闘争の波うねり高し、我等期末手当闘争で賃闘争と共に進まん」（同）

紙上スライド

首切り絶對反對

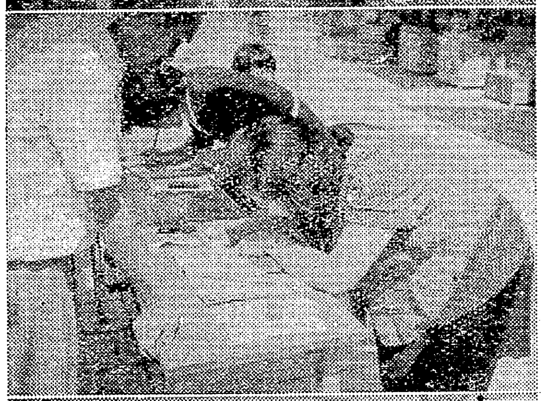
◇署名運動の巻◇

製作所の解雇拒否者はこれまでの正門前の坐り込みを出退勤時のみに止めてあとの時間は街頭に進出、市民に對する情宣活動を兼ねて廿六日から署名運動を展開している。これはそのスナツプ集



ムツ、と怒つた顔で

どういうものかアベックは滅多に署名して呉れない。この御夫婦の場合は特に御願いした譯でもないのにムツ、と怒つたような顔をして寄つて來て、御亭主が抱いて居た赤ちやんを奥さんに渡しサラサラッと二人分の署名を済すや拇印ではなく手帳面に判コをおして再び赤ちやんをダツコして立去つた。



好い赤ちやんを！

おなかの大きいこの奥さんは何れ身寄りの誰かが炭鉱闘係で働いてでも居るのか勇猛果敢に立ち寄りざま眞剣な表情で一字一字刻みつけるように署名した。有難うございましたと禮を述べると〃いえ〃とはにかんで逃げるように立去つた。來月あたり産み月だろうか？好い赤ちやんが生れますよう——

御氣に召すまゝ

振り分けにしたヤミカゴと麻袋身の廻りにも一杯ボロをぶら下げて瓢々乎と街を行く哲人じみたオッさん、どう氣が向いたものかヨッと片手を鼻先にかざしたかと思うと水グキの跡（？）も鮮かに書き流す。通告拒否者も一寸毒氣を抜かれた形、オッサンが去つた後その筆跡の見事さに再びダアー

屹度勝ちます勝たせます

太陽館の横に店開きしたトタン署名第一号がこのお坊さん、やおら名前を書き終えるや合掌メイ目、さて開口一番して〃もうこれで大丈夫、私がこう佛を念じた以上闘争は勝利疑いなしデスゾ〃に幸さき好しと情宣部員のよろこぶことよろこぶこと、午前九時、繁華街の朝はおそくまだ人影もまばらである。

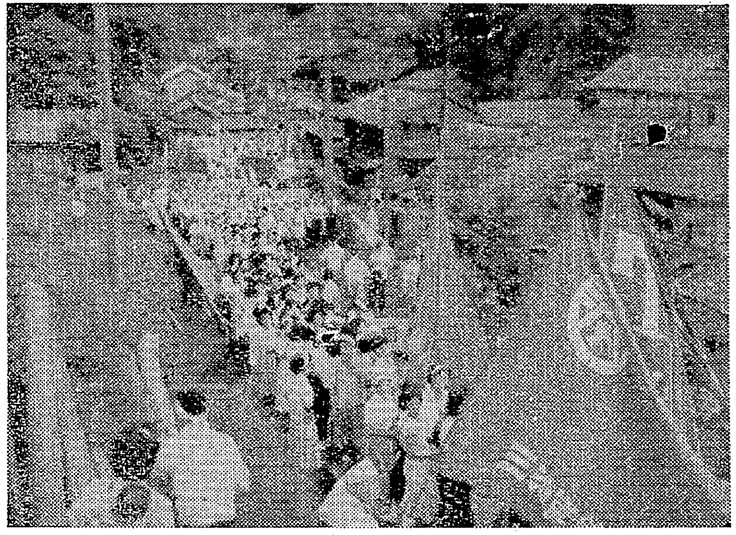
字は書けずとも

うず高く藁を積んだリヤーカーを曳いてお婆さんが通りかゝる。まさかと思つて誰も〃署名を…〃と切り出す者もなかつたのにモジモジして居る。署名台の前に車をとめて居る。あわてゝ署名簿を差し出すと〃わたしや字が書けまつせんので…〃と孫らしい少年に代筆させその間御婆さんは直立不動の姿。

國警一五〇名を動員

11名を検束す

たまたま会社の一幹部（労務主任）が九月十九日、心にもなき廃山をほのめかしてピケ隊の解散を暗示した事が契機となり、ピケ隊と会社幹部、第二組合幹部との間に若干の紛争が生じた。この問題を理由に事実行為等の調査も十分行う事なく、組合員及び炭婦協代表十一名を、二十三日午前五時個人宅に踏み込んで検束するの暴挙に出てあまつさえ事件に何等関係なき組合重要書類迄一方的に押収したのである。


写眞は第二組合長宅前のデモ

激怒する組合員

かゝる当局の挑発的行為に対して組合員の怒りは連日のデモ、決起大会等で九月二十四日はその頂点た。に達した早朝より決起大会を行いデモ隊は社宅事務所に第二組合長宅に、警察にデモをかけると共に不当検束者の即時釈放を要求すると共に二十五日には組合員と家族並に各単産の代表（三〇〇名）が佐賀市に集合検察庁に警察に抗議を行つた。又一方佐賀県会の一部は事態を重視し、検察側の不当検束に対しては即時釈放を決議、組合員の先頭に立つて闘つている。

たゞ一語〃殘念〃

被検束者の父死の抗議

組合員の強烈な圧力に屈し、二十六日迄に四名を釈放したが、残る七名の釈放を要求する組合員は一致協力して圧力をかけているが、被検束者、青年行動隊副部長（白尾秋義君）の父が二十六日早朝、死の抗議を行つた事から鉱は全く興奮のルツボと化している。白尾君の父は二十五日検察庁に出頭を命ぜられ相当の審問を受けたらしく二十六日早朝家族の気が付いた時には既に形なく、窓ガラスに歯噛きの粉をもつてたゞ一言〃残念〃と書きのこし、罪なき人は自らの命を断ち、当局の不当弾圧と会社側の無謀なる処置に対して償い抗議を行つたのである。戸板にのせられた故白尾氏の遺体は三鉱労組の組合旗でおゝわれ、社宅に帰る途すがらこれを迎える人々の眼は憤りに燃え、憤激即ち闘いの強化につながる真剣な面ざしであつ

遺影を先頭に抗議デモ

九月二十八日正午、佐賀県庁横埋立地に岩屋労組を中心に佐炭労及県労協更に九炭労傘下支部約三千名が参加して開催、同志故白尾泰臧氏の霊に默祷を捧げ、岩屋鉱の企業再開全員復職など決議し、同志故白尾氏の遺影を先頭に数百本の赤旗を共々弔旗として佐賀市内処せましと検察庁、国警、県庁舎その他に抗議、或いは要請一大デモンストレーションを敢行した。

霊魂よ安らかに眠れ

翌二十九日午後二時三十分より組合事務局にて同志故白尾泰臧氏の葬儀は組合葬に依つてしめやかながらも盛大に執り行われ、大手筋を代表して三池より弔辞を捧げ霊魂の永遠に安らかに眠れとその冥福を祈ると共に、同志の仇は闘いの中で必ず討つ事を固く誓つた。

岩屋の同志とともに闘おう

検察並びに警察当局の不当弾圧に対しては徹底的にこれを追求すると共に、頑迷なる経営者も地労委の斡旋に遅まき乍ら誠意の片鱗を示して来た。

岩屋の同志一千余名の完全復職の闘いは我々の不当首切絶対反対闘争と本質的には何等変りなきものである。最後迄共に闘おう。炭労の統制ある指導の下に闘念された第二組合の擡頭も今や殆ど立消え此処に岩屋労組とその家族、そして近隣中小企業者の大同団結の下勝利の駒は着々進められている。

かくて我等一行岩屋に於ける行動に一応終止符を打つて岩屋の同志と固い握手を交して、同志の熱狂的見送りの中九月二十九日午後五時四十八分岩屋を後にした。

投書

坂梨談話に對して

最近の坂梨談話が著しく挑発的脅迫の様相を帯びて来たことに拒否者は勿論、一般組合員の間に新たな憤激が蓄積されつゝある。今迄数度の団交の時、次長始め山元の経営者がそれぞれ「組合員の切なる願いを上司に伝え、撤回に努力し度い」という約束には一片の誠意も示さず、あたかも彼等が被害者のような言辞を以て組合員に責任を転嫁する態度は絶対に許せない。被害者は彼等で無く我々だ、失業者が国内にあふれている今首にされることは我々に死ねということで自殺か、一家心中より他に道は無い、間接的に彼等は殺人者であり加害者である彼等が今迄隠忍自重していたがといつているが、隠忍自重しているのは我々だ、組合の統制の前に我々は数度彼等を目の前に置き乍ら憤怒に身をふるわせ、言い度いことの万分の一も言えず、道理を説き情を尽くし平和的な解決を要請し来つた。

然るに坂梨談話がロツク・アウト、第二次第三次の首切を以て組合員を脅迫するに至つては徒らに紛争を拡大し解決に対していさゝかの努力を払うことなく事態を破局に追い込み民労運その他の手先を使つて組合の内部分裂を策動して非情の首切を強行せんとする理も情も無い暴力的な言動であり、彼に人間としての温みを期待したのが完全に無駄であつたことを骨の髄まで悟らされた訳である。利潤を目的とする会社が利潤の為には首切りも已むを得ないとかねがね言明していた彼等が今次の談話で一資本の問題でないから損害の多少にかゝわらず強行すると言つたことは全く世論の非難、組合の道理の前に敗北に直面して常識を失つたにしろ悪質である。

彼が我々の責任を追及するなら我々は彼以上の決意と方法を以て彼の食言と暴力的脅迫の言動の責任を追及する。

二つの打撃には四つの打撃で応える。彼堪忍袋の緒を切るなら我亦堪忍袋の緒を切る。生死の一線に追い詰められた我々にはたとえ一人に成る共徒手空拳尚闘いを挑むであろう。我々には生命以外に最早失うものは無い、生命の限り闘う。

三川　藤末　克己

港務所ストのその後

スト以來船影なし

トラックだけが慌しい動き

一頃五万トン程度まで激減して居た港務所の貯炭は、送炭がストツプされた事によりまたぞろ目に見えて増え出した。貯炭係がかん口令を布いて居るので正確な数字はつかみ難いが、写眞で見る通り貯炭桟橋の脚を埋めつくして居る。送炭ストによりあわてたのは関運商業で、スト突入のその日からトラツクを動員、ヤツサモツサで貯炭搬送を開始して居る。筆頭は日発港第一発電所で毎日千トン乃至千百トン、最少限度これだけは運ばないと電気がとまつてしまうとあつて延べ二百台以上二百五十台程度のトラツクを繰り出して送炭に大童これに次いでは東圧が毎日五十台（二〇〇トン）三染、合成などは今のところ相当の貯炭を抱えているので目立つた動きを示していないが、来週当りからは日に二千トン、トラツク五百台程度を動かすのでなければ追つゝかないのではないかと見られている。一方埠頭に目を転ずるとスト突入以来一隻も船が入らず、曳き船は殆ど繋船されつぱなし、巨大なローダーが徒らに水面を睨んでひ肉の嘆をかこち勝ち顔である。

寫眞 上は大牟田驛 下は貯炭桟橋のトラック群

あの手この手の切り崩し

會社はまるで手負猪

闘争が激烈になり、会社に与える打撃が大きくなればなる程会社の切崩し工作もドギツさを増し、ゲリラ化の様相を帯びて来つゝある以下その二、三例——。

係員がデマる

＝宮浦支部の場合＝

去る廿日宮浦支部で職場大会が開かれた折、坑内某係員は或る組合員に何の集会かと質したのち「三川でも問題になつたように君達が金受けが少いとこぼしているとき執行部員は三万円もそれ以上も受けている。役員の給料袋を公開するよう要求してはどうか」とそゝのかした事実があり職場大会で一応問題になつたが執行部側から「役員給与は中央委員会において決定されたものであり、額も一般組合員をそう上廻るものではない」と実際について説明した結果氷解を見たが、組合内部をかき乱すような某係員の言辞は現在の深刻な闘争段階にあつて単に無責任な放言だと看過することが出来ないので本人並に証人を喚問の上事実がたしかめられたら職組に厳重申入れを行うこととなつている。同宮浦では病床にある被通告者の家を人事が戸別訪問して病気見舞金なるものを差出し、実は退職勧告を行つた事実もあり組合としては監視の目を光らせている。

その手には乗らぬ

＝港務支部の場合＝

九月二十五日港務支部拒否者を某補導員が酒場に呼び酒を呑ませている時、あらかじめ話合つていたのであろう、人事の某係員が入つて来て、その拒否者を座敷に招きそれこそ豪勢な料理にビール、酒と御馳走して話を切り出した。その話たるや予想通り退職勧告なのである。「今君等が拒否しているので組合は色々闘争し、会社は相当痛手を感じている。君たちさえ辞めて呉れたら闘争は終るだろうからこの際辞めて呉れんか」と云うのであり、これに対しその拒否者は「何故俺の首を切つたのか？理由を話せ」と迫つたがそれには何んら答えず、もつと良い場所に行こうとさそい出しにかゝつたが、長居をすると酒に酔いつぶされるおそれがあると無理に振り切つて帰宅した。その後も一、二度使いを出して、さそいの手をのばしていると云う。

アノ手コノ手で退職をすゝめられているが、このあまい手には絶対にのらない。俺の後には三鉱二万の同志とその家族、炭労二十七万が応援している、必ず復職することを確信して最後まで闘う。と某君は語つた。

各個撃破を試る

＝製作所の場合＝

製作所では廿日前後人事課長、営業課長、次長といつたエラ方が被通告者の家族を戸毎に歴訪して如何にも御為ごかしに「今がやめ時だ、規定の退職金以外少しでも多く取れるようにするから…」と各個撃破を試みたが、退職理由が明示されぬ限り辞める訳には行かないと一人も応じる者なく、最後まで頑張り抜くぞとかえつて闘志を燃え立たせている。

闘志は凝つて

市長杯弓道に稲葉五段優勝

十射皆中

澄渡る秋色の陽光溢る九月二十日市民体育館弓道場に於いて擧行された大牟田市主催の二十八年度秋季市長杯争奪弓道大会は　大牟田市弓道愛好者七十有余名の参加を見て熱戦を繰展げたが、三川鉱稲葉東生選手（五段）は個人の部に於て堂々強豪を圧し十射皆中にて栄の優勝をかざり栄与の市長杯を獲得した。同団体の部に於いては惜しくも優勝を市役所チームにゆずつたが第二位を確保、三川鉱弓道部の名を擧げた。因みに稲葉氏は今度の人員整理で解雇通告書をうけたがこれを返上して果敢に闘つている。三川支部切つての闘士である。

＝替え歌＝

やつゝけろ！

三川、藤末克己氏作詞〃男なら〃の節で歌つて下さい

1
男なら〳〵金やおどしで默りはせぬぞ
みんな揃つて力を合せ首切る奴の首を切れ
男ならやつゝけろ

2
女なら〳〵炭婦協の鉢巻しめて
姿、形は優しいけれど
岩も通すぞこの心
女ならみんなやる

3
男なら〳〵川上亀郎
姿を見せろ
金でだまして首でおどし
それで駄目なら逃げかくれ
男ならやつて来い

4
女なら〳〵夫たすけて
子供を抱いて
雨が降ろうと夜中だろうと
すわり込みにデモ隊に
炭婦協の心意気

日共から激勵

日本共産党中央指導部の板野勝次

秋の流行服 專
英国の伝統的な型を基本としてフランスの粋な感じと、アメリカの楽な着心地とを調和させたスタイル
御注文紳士服　高級既製紳士服
良品 K 正価
ヤクオーイン
大牟田市栄町五月橋側
TEL2130・2330

秋冬の装ひは
服地の店スミレへ
流行の 純毛服地 化繊服地 品揃
すみれ洋装店
四ツ山県境　TEL326

流行の服地と呉服
だるまわた 赤玉学童服 特約店
大万呉服店
荒尾市四ツ山本通り　電話三一五番

秋の大賣出し 專
各種和洋家具大割引
各社宅で大好評の
石油コンロ大割引
◇月賦販賣◇
三川支部指定店 高千穂家具店
大牟田市三川町一丁目　TEL6105